

# 新大阪駅ルート(阪急バス)の結果

2026年1月30日  
阪急バス株式会社

# 「新大阪駅ルートの概要」（阪急バス株式会社）

## 万博開催時の運行ルート概要

運行ルート：下図のとおり（自動運転は淀川左岸線2期区間西行きのみ）



# 万博開催時の自動運転バスに係る内容について(阪急バス株式会社)

## 自動運転の運行概要

場 所 : 淀川左岸線2期区間(豊崎入口から海老江JCT付近)※運行区間は新大阪駅～万博会場

運行期間 : 4月13日～6月6日(実運行日数:39日/運行計画日数:39日/運行期間日数:55日)  
※6月6日の2便目以降、車両不具合のため運休(通常車両にて運行)

道路側設備 : 磁気マーカ、ターゲットラインペイント

使用車両 : 8.8m(中型)観光バスタイプ車両(EVバス)

便数、ダイヤ: 2便／日(10時30分発、14時30分発)  
※運行日:月・木・金・土・日曜日

乗車人数 : 1764人(一日最大62人)

運賃 : 1,500円(大人・小児共通)

特 徴 : ・観光バスタイプのEV車両による自動運転(国内初)  
・令和5年度、6年度に国土交通省 地域公共交通確保維持改善事業費補助金※を活用  
※令和5年度は自動運転実証調査事業、令和6年度は自動運転社会実装推進事業を活用



使用車両

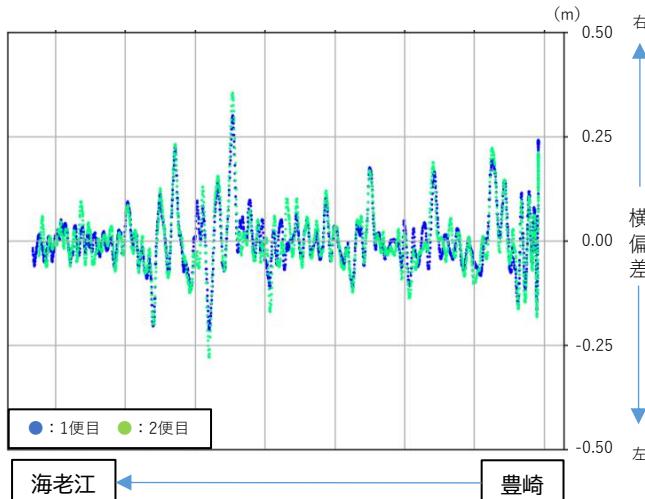
# 万博開催時の自動運転バスの運行結果について(阪急バス株式会社)

## 万博期間内の運行結果

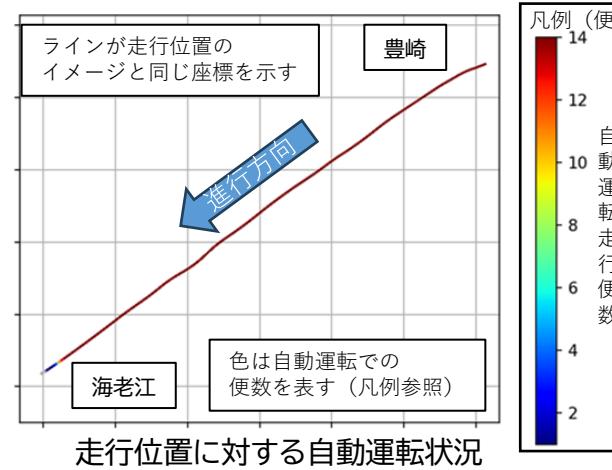
### 【検証項目・結果】

#### ①走行安定性の検証

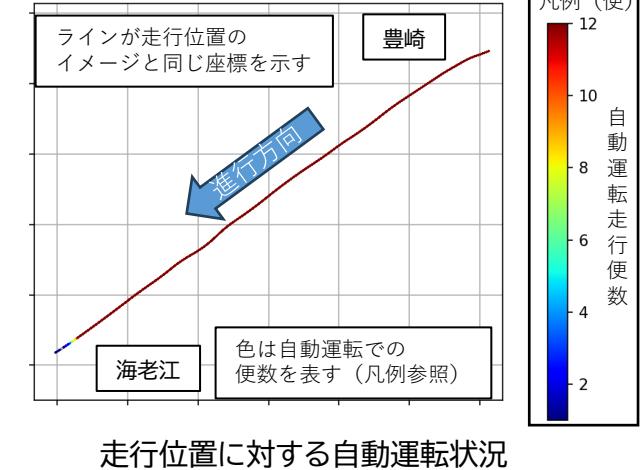
- 運行を行った4月13日から6月6日までの1便の走行距離に対し、自動走行を行った距離の割合は、全期間の平均で99.91%であった。
- 全運行期間のうち運行当初の7日間と終盤の7日間の自動運転走行の状況においても、ほぼすべての区間で自動走行が行われていることが確認でき、想定ルートからの横偏差については、それが発生しやすいカーブ地点を含めても、最大値は50cm未満であった。



走行ルートからの横偏差(4月13日)



※海老江JCT付近においては、運転手の手動運転への切り替えタイミングの誤差により自動運転走行数が少なく現れる



# 万博開催時の自動運転バスの運行結果について(阪急バス株式会社)

## 万博期間内の運行結果

### 【検証項目・結果】

#### ②乗客へのアンケート結果

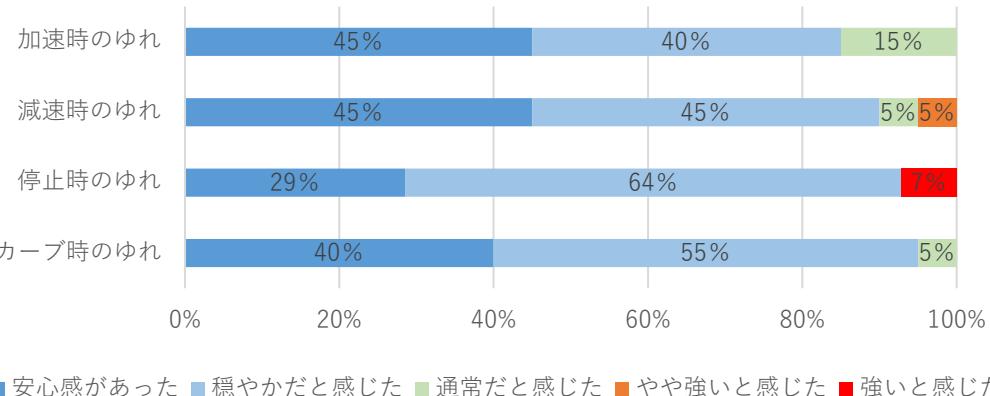
##### ○アンケート概要

アンケート期間:5月15日(木)~6月6日(月)

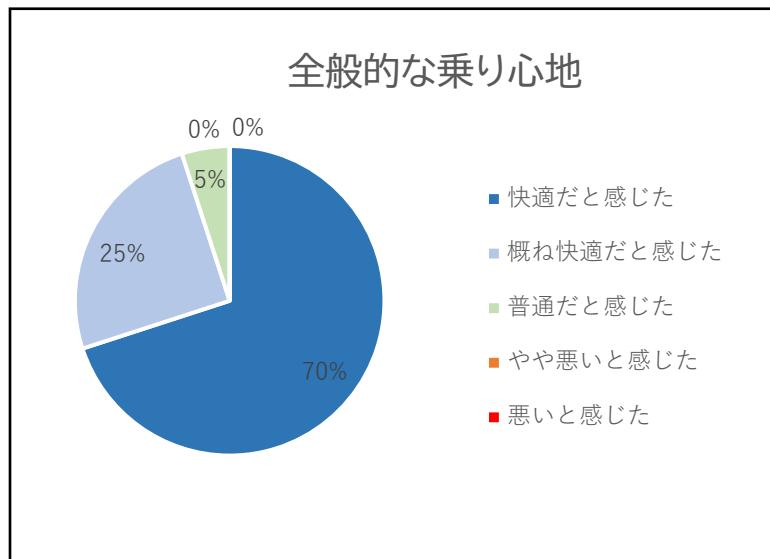
回答数:20件

- ・加速時やカーブ時など各状況の揺れや衝撃についての感じ方では、全ての状況において90%以上の人人が、「安心感があった」・「穏やかだと感じた」・「通常だと感じた」と回答しており、通常のバスと同等またはそれよりも弱いゆれや衝撃であったと感じている。
- ・「全般的な乗り心地についてどのように感じましたか」という質問に対しては、「快適だと感じた」・「概ね快適だと感じた」を合わせた回答率は95%であり、「通常だと感じた」と回答した人を含めると、100%となっている。

自動運転でのゆれや衝撃に対する感じ方



全般的な乗り心地



# 大阪・関西万博での自動運転バスの運行結果について(阪急バス株式会社)

## 今年度の実証実験 結果概要

場所：淀川左岸線2期区間(豊崎入口から海老江JCT付近) ※運行区間は新大阪駅～万博会場

運行期間：2025年4月13日から同6月6日(開催当初は、2025年10月13日までを計画)

トラブル発生時の状況：

2025年6月6日(金)11時40分頃、夢洲から新大阪駅へ向かう復路便にて夢洲～舞洲間の夢舞大橋を手動運転による走行中(旅客なし)、車両故障を示す警報が鳴動し、各装置が正常に作動しなくなつたことから、安全な場所で緊急停車したもの

調査方法：

- ・車両および自動運転システムのログ解析

- 自動運転システム側にて、通信エラーを検知した記録がある一方、車両側には記録なし

- ・再現テスト

- 事象の再発検証のため、車両内通信の測定装置を接続した状態で安全な場所にて走行したが、万博閉幕まで再発に至らず

- ・車両内ノイズの有無の確認

- 有意なノイズは確認されず

対応策：安全確保を最優先に考え、通常車両にて運行を継続